

基礎数理解第 11 回 (2004-01-08)

問 11.1 n 次三重対角行列

$$A = \begin{bmatrix} 2 & -1 & & & \\ -1 & 2 & -1 & & \\ & & \ddots & \ddots & \ddots \\ & & & -1 & 2 & -1 \\ & & & & -1 & 2 \end{bmatrix}$$

の行列式の値を d_n とする .

(1) d_n の満たす 3 項漸化式を導出せよ .

(2) d_n を求めよ .

(答) (1) 行列 A の第 i 行に関する Laplace 展開 $|A| = \sum_{k=1}^n (-1)^{i+k} A_{ik} \Delta_{ik}$ を用いる . 特に , 第 1 行に対して Laplace 展開を行うと , $d_n = |A| = \sum_{k=1}^n (-1)^{1+k} A_{1k} \Delta_{1k} = (-1)^{1+1} A_{11} \Delta_{11} + (-1)^{1+2} A_{12} \Delta_{12} = 2\Delta_{11} + \Delta_{12}$ を得る . このとき , $\Delta_{11} = d_{n-1}$, $\Delta_{12} = -d_{n-2}$ となるので , $d_n = 2d_{n-1} - d_{n-2}$ が求める漸化式である . (2) $d_n = 2d_{n-1} - d_{n-1} \Leftrightarrow d_n - d_{n-1} = d_{n-1} - d_{n-2}$ なので , $d_n - d_{n-1} = d_2 - d_1 = 1$ である . したがって , $d_n = n + 1$.

問 11.2 A, B を正方行列とするとき , $AB = I$ ならば $BA = I$ が成り立つことを示せ .

(答) Cramer の公式と $|A| = |A^T|$ を用いて証明する . $BA = I \Leftrightarrow A^T B^T = I$ であるから , $AB = I \Rightarrow A^T B^T = I$ を示せばよい . b_1, \dots, b_n を B の各列ベクトル , e_1, \dots, e_n を単位ベクトルとすると , $AB = I$ は $Ab_j = e_j$ ($j = 1, \dots, n$) と表すことができる . 各 j に対して Cramer の公式を適用すると , $B_{ij} = \frac{\tilde{A}_{ji}}{|A|}$ を得る . ただし , \tilde{A}_{ji} は A の余因子である . これは , A の第 i 列を e_j でおきかえた行列に対し , Laplace 展開を行えば分かる . ここまでをまとめると , $AB = I \Leftrightarrow B_{ij} = \frac{\tilde{A}_{ji}}{|A|}$ が成り立つ . 同様に , $A^T B^T = I \Leftrightarrow B_{ij}^T = \frac{\tilde{A}_{ji}^T}{|A^T|} \Leftrightarrow B_{ij} = \frac{\tilde{A}_{ij}^T}{|A^T|}$ が成り立つ . ここで , $|A| = |A^T|$, および $\tilde{A}_{ij}^T = \tilde{A}_{ji}$ より , $AB = I \Leftrightarrow A^T B^T = I$ が成り立つ .

以上